

# 四国遍路道研究会報告（第7回）

## 四国遍路みちにおける、「へんろ転がし」の工学的研究

四国遍路みち研究会

### ・国道33号三坂峠～第46番浄瑠璃寺の現地調査報告 （第12回現地調査 H26.11.15）

すっかり紅葉の始まった平成26年11月15日、高松を7時半頃に出発した。今回は8名と松山でのサポーター1名による9名の参加であるが、2名の隊員に車の移動運転をお願いすることとなり7名での現地調査となった。

10時頃に愛媛県久万高原町の道の駅「天空の郷さんさん」に到着。ここで、弁当と飲物等を手に入れた。今年4月にオープンした道の駅とあってきれいで機能的、ここにはパン工房もありファンも増えているらしい。あわせて、道の駅の本来の機能としての防災拠点としての設備もそろっている。

駅の物販所を散策中、背中に「へんろ道体験ウォーキングラリー」のゼッケンを着けたグループと一緒に。おばちゃん等が多くなかなかにぎやかである。このグループも最終目的地は46番の浄瑠璃寺さんとのことである。



三坂峠道標（表裏）



杉木立の空間と大木

早々に道の駅においとまし、国道33号を松山方面に取って返し、標高710mの三坂峠の分岐点に立つ道標「(手印)右へんろミチ左松山道/浄瑠璃寺へ二里/明治廿三年六月建之鈴木覚蔵」を確認し遍路道を進む。この遍路道は明治20年(1826年)に三坂新道(現在の国道33号の前身)が開通するまでは松山と久万・土佐を結ぶ重要な街道であった。

今回は46番浄瑠璃寺までの峠から約8.3kmの行程。分岐してからしばらくは緩い坂だが、すぐつづら折りの急勾配の下り坂道にかかる手前に、杉木立の間はかなり広めのポツンと空地があった。周りの杉木はかなりの大木であり、国道が開設されるまでは往還の休憩所として見晴らしの利く茶店があったそうで、しばし古の旅人の視点で、松山平野や瀬戸内海に浮かぶ伊予の小富士(興居島)を樹間に探した。

この茶店跡から北に向かうと、下り坂はきつくなり最急で25%強の勾配で石畳みになっている「へんろ転がし」が出現。区間延長約2km程度の、石畳区間の繰り返しが続き、桜集落の休憩所「坂本屋」に着く。ここの遍路道はこれ





急勾配箇所石張りの様子

まで調査した道(通常3尺道程度)に比べて道幅が広く(現地実測で1.8mの1間(6尺)道)、遍路道だけでなく伊予と土佐を結ぶ往還で、勾配のきつい所は路維持のためか、石畳の箇所が多かった。苔むしたところもありよく滑る。また、途中には馬頭観音が祭られており牛馬の往来と苦勞も多かったことが偲ばれる。

「坂本屋」でお接待を受ける。焼印の付いた草もちとお茶をいただく。時刻も12時半頃となり遅めの昼食を取った。

この休憩所で標高約300m、46番浄瑠璃寺までは約5kmでまだまだ続く、といっても調査対象の「へんろ転がし」はここまで、これからだらだら平地を歩くことになる。お腹もいっぱいとなり、お接待のお兄さん方に丁寧にお礼を申し上げ、再び北へ向かう。

ここから先は、圃場整備後の農道や生活道路を歩くが丁石はなし、しばらく行くと不思議な網目模様のついた「弘法大師の網掛け石」とよばれている自然石が鎮座していた。松山市教育委員会編さんの「おへんろさん」には、網掛け石の伝承を、



巨石と「網掛け石大師堂」

「むかし、弘法大師が大きな石を網に入れてオウク(担(にな)い棒)で担ってきたが、榎まで来たところでオウクが折れてしまった。その拍子に、折れたオウクが山に飛んで行った。落ちた所をオオクボ(松山市久谷町大久保)というようになった。また、石の一つは下の御坂川に落ち、もう一つは今に残る網掛け石である。」と記している。石のそばに、浄瑠璃寺を案内する道標があり「弘法だいしあみかけい志、かたに(片荷)ハ川にあり、明治四十四年四月建之日向国南那河郡中時高橋満吉全村目井津神恵曾兵」と刻んだ自然石の石碑も立っている。あわせて、道標「志やうり寺へ三十三丁/東明神梅木音吉建之」がある。三十三丁といえは約4km弱でまだまだである。

これ以降も圃場整備の工事箇所を横目に県道を進む。遍路道の面影は一部を除いて無い。北上して流れる御坂川と平行し歩くこと1時間強「出口橋」の欄干横に道標また、お寺の手前で道標を見つける。地元のおじさんから県道



より分岐したところに旧の遍路道があり、このルートで行くと、お寺の山門の前に出るとのご教示があり、それを選ぶ。46番浄瑠璃寺到着は3時半頃で計画より1時間ほど遅れた。

国道33号の前身三坂新道が開設されるまでは、伊予松山と土佐を結ぶ土佐街道の急坂を歩いたが、唯一の往還を歴史文化的に保全されていくことをのぞみつつ、つるべ落としの夕暮れの中、川内ICより松山道にて帰途に着く。(参考文献\*愛媛県生涯学習センター「えひめの記憶」)



到着地点集合浄瑠璃寺